





第四十一回山梨県中学生交通安全弁論大会

近藤美香さん(中富中)が優勝

地区代表十七人が熱弁

県警察本部と県交通安全協会の主催による第四十一回山梨県中学生交通安全弁論大会が、十月六

日甲府市内のニュー機山で開催されました。大会には、県下各地区の予選大会で優勝し、地



熱弁を振るう地区代表

区代表となつた十七人が持ち時間七分で自らの体験等を通じて交通安全の大切さを訴えました。審査の結果「あなた

(準優勝) 山梨県議会議長賞 吉田中三年

荒井奈津子 山梨県警察本部長賞 西桂中三年

椿山智恵子 山梨県教育長賞 駿台甲府中二年

山本真希子 (特別賞) 菲崎東中三年

上野 亮祐 (優秀賞) 以下出場順 内藤大貴(浅川中) 中

村大介(山梨北中) 葉袋(勝沼中) 須田真介

(泉中) 長田朋子(桐原中) 井上聡(大月東中)

秋山彩(甲西中) 渡邊苗(古関中) 永田彩(南西

中) 河村暢子(猿橋中) 鍋田唯(万沢中) 志村芽衣(富竹中)

安協だより

当協会は、県東部郡内地方に位置する都留市、西桂町、道志村、秋山村の一市一町二村を管轄する交通安全協会です。

住民に信頼される活動

都留安協会長 三枝 時彦



所改善運動やカーブミ

ほとんどで、道路状況を知らないがための速度の出し過ぎによる事故が多くなつてきています。

また、車両の通行量増加による交通渋滞も地元住民には大きな迷惑となつているところです。

今年の交通安全教育としましては、全人口対象の交通安全ビデオを製作し

正に伴い、チャイルドシート着用指導員を交通安全協会役員等七十五名に委嘱するなど、行政と連携しつづ住民に密着した活動を行つております。

お知らせ

八田村の山梨県安全運転学校、都留分校で運転免許の更新を予定されて

約四万七千人程度ですが、都留市や西桂町を走る国道一三九号と道志村を走る国道四一三号における車両等の通行量が近年増加している現状

にあり、それに伴い交通事故が増加しています。これらの車両は、富士五湖観光目的の通過車両が

人が死亡しております。今年には都留警察署から協力を得て、各種体験型の交通安全教室を年齢別に分けて実施するな

交通安全教室の開催や都留市の八潮祭りにおける大名行列パレードへの交通安全キャンペーンの参加等を積極的に行い、人身事故および死亡事故の件数は大幅に減少しました。

また、道路交通法の改正により、地域住民から愛され、そして信頼される安協を目指して、協会員一致団結して活動していきたくと考えております。

「シートベルト着用率 助手席、全国最低の二六%」これは、昨年新聞に出された見出しの言葉です。

この調査は、昨年の九月、日本自動車連盟が、全国約百五十カ所の幹線道路で実施した助手席のシートベルトの着用率の全国結果です。

自動車連盟では、一九九一年から毎年一回全国で調査をしているので、山梨県でも甲府市の中小河原交差点と、アルプス通りの二カ所で、千

台の車の運転手と助手席のシートベルトの着用を調査したのです。

調査結果は、とても残念な結果でした。運転手の着用率は、六〇・九%

で全国トップの香川県の九〇・六%と比べると、実に三〇%も低く、全国平均七八・五%も大きく下回つて、全国二番目に低いという結果です。また、助手席のシートベルト着用率にいたっては、二六・四%と全国最下位という結果でした。

全国最低の二六%と聞いて、皆さんはどんな事を感じたのでしょうか？

山梨県民として、恥ずかしい思いを感じることでしょう。全国の住みやすい県として山梨県は評価されています。周りは山々にかこまれて美しく、富士山や南アルプスなどの自然も豊か、美術館や文学館など文化の香りも高い山梨。そして、優し

あなたはシートベルトを締めていますか

中富町立中富中学校 近藤 美香



大丈夫という過信「せつかちに、人より早くという自分勝手な行動」。こんなことが感じられる山梨県の交通社会だとしたら、それはとても悲しい事だと思ひます。

私は、今まで運転手だけが交通安全の意識が低いと思つていました。シ

やうか? 「自転車の二人乗りはしない」「道路をとおせいで横一列になつて歩かない」「助手席でシートベルトを必ず着用する」こんなあたりま

の交通安全も、そんなに高くないように感じます。私は今、生徒会の副会長をしていいますが、四月以来、生徒会としても交通安全に取り組んでいます。自転車の安全点検や警察の方を招いての自転車の正しい乗り方などの

やさしい指導 安い費用 スピード取得
★各車種の免許 (大型・普通・大特・けん引の各第一種、第二種免許及び普通二輪免許) の取得ができます。
★早朝・夕方・日曜その他あなたの生活条件に合わせた教習が受けられます。
財団法人 山梨県交通安全協会経営
公認 山梨自動車学校
中巨摩郡八田村野牛島1828 (運転免許センター内)
TEL (055) 285-0752



事故は瞬間 ベルトは習慣

なお、運転免許の更新手続きは誕生日一カ月前から出来ます。



### 秋の全国交通安全運動

## 各地で多彩な催し

秋の全国交通安全運動等四点を運動の重点とし、九月二十一日から九月三十日までの十日間、高齢者の交通事故防止、シートベルトの着用、チャイルドシートの着用促進、県独自として飲酒運転の絶滅、交差点カーブにおける事故防止

しかし、期間中の県内事故発生状況は、事故件数百五十九件（前年比二十八件増）、負傷者数二百十八人（前年比五十二人増）、死者数五人（前年同数）という残念な結果に終わりました。

期間中の各安協の活動を一部を紹介します。



高齢者の夜間安全教室（南甲府）



高齢者交通安全教室（甲府）



天野知事によるチャイルドシート装着（県交対協）



グレースホール会場で交通安全講話（長坂）



女子プロレス神取忍さんが交通安全宣言（韮崎）



婦人部で作成した鬼面瓦お守り（小笠原）



中学生の自転車教室（市川）



僧侶による交通安全祈願（南部）



小学生への街頭指導（皷沢）



安全運動出発式（塩山）



チャイルドシート着用指導員委嘱式（日下部）



黄色い羽根等配布（石和）



チャイルドシート着用指導員委嘱式（上野原）



安協婦人部による街頭指導（大月）



「レディースフェスティバル」チャイルドシート実技講習会（富士吉田）



チャイルドシート実技講習会（都留）

### 地区支部活動

#### シートベルト・チャイルドシート体験教室

小笠原交通安全協会八田支部（斉藤秀男支部長）は、小笠原警察署等と連携のもとにシートベルト体験教室を、十月十日、八田村民体育祭の場を利用して八田中学校において開きました。

体験教室には、シートベルトコンビンサーやオートブレーキによるチャイルドシート着用体験などを行いました。

当日は、体育祭の関係

#### チャレンジ〇〇表彰式

##### 大月安協

大月交通安全協会（山下道男会長）は大月警察署等と連携して、秋の交通安全運動最終日に大月警察署において「三世代セーフティチャレンジ〇〇」の表彰式を開催しました。

このチャレンジ〇〇は、春の全国交通安全運動初日の五月十一日にスタートをし、七十三チーム二百十九人が参加、内六十六チーム二百十人が無事故・無違反を達成しました。

表彰式には、各チームから代表者が出席し、表彰状や記念品を受け取るともに、盛大に抽選会も行われました。

出席者は、チャレンジ〇〇が終わったから安

### 反射材着用宣言大会

#### 市川安協大同支部

市川交通安全協会大同支部（一瀬貞仁支部長）は、地区四百二十戸の全戸に反射材タスキを配分するとともに、秋の全国交通安全運動の初日の二十一日、市川南小・中学校体育館で「反射材着用宣言大会」を開催しました。

大会では、秋の交通安全運動の重点目標である「飲酒運転の絶滅」等を中心に交通安全宣言文をまとめ同宣言文を母の会下部支部長が読み上げ、満場一致で採択されました。

宣言後、下部町長が宣言文を大森市川警察署長に手渡したところ、同署長は「当署管内では飲酒運転による交通事故が多発しており、今日の宣言



### 三十年間毎月定例会

#### 塩山安協勝沼支部

塩山交通安全協会勝沼支部（岩間正典支部長、支部役員二十二名）は、三十年前から、毎月八日に勝沼町内に定例会を開催しています。

定例会には、各種行事の打ち合せ、活動方針、最近の交通情勢や交通事故の発生状況の協議や新入役員への街頭指導要領の教育を行っています。

今回は十月三日開催の

### 下部町で安全宣言

#### 市川安協

市川管内の下部町（土橋金六町長）が主催し、市川安協（八木吉治会長）等協賛のもとに、九月十八日、下部町開発センターに、同町民約百二十名が集まり、「下部町交通安全宣言大会」を開催しました。



「勝沼ぶどう祭り」や十月十七日開催の「勝沼ぶどう郷トークマラソン」の打ち合せを行いました。

今後も、三十年間の伝統を引き継ぎ、毎月、定例会を開催して、効果的な交通安全活動を推進して行く予定です。